

「頭をよくする私の方法」 竹内 均著 三笠書房 2001年11月発行

私が旭川高専の教員に着任して、もうすぐ1年を迎えようとしています。本年度、講義を担当したのは、専攻科生と機械システム工学科の5年生、3年生の科目です。そのため旭川高専では、まだ、私のことを良く知らない学生の方が大半ではないでしょうか？知らない人から本を推薦されても興味が湧かないでしょうから、図書の推薦を行う前に、私の経歴について簡単に知っていた後、この図書を紹介するに至った経緯を述べたいと思います。

私はこれまで、自動車の設計者、研究員、そして、福井の私立大学で准教授をしてきました。出身は北海道ですので、日本の各地でしばらく働いてみると、大まかですが、各地域の県民性の違いというのを感じることがあります。私が過ごしてきた地域・会社では、そこでの産業をモノづくりが支えているためか、職人気質の人が多かった印象（こだわりをもって良いものを作る反面、アピール下手な一面があります。高専生にも少し通じますね）があります。私も、品質・性能の良いもの、世の中の役に立つものを作りたいという気持ちが強い方なので、こだわりをもって好きな仕事に取り組んでこれたかなと思っています。

さて、今回皆さんに推薦したい本「頭をよくする私の方法」の筆者である竹内先生は、福井県のご出身で、東京大学名誉教授です。地球物理学を専門とされ、専門以外にも多くの著書を書かれました。私の専門は弾性学(固体に生じる力の分布や弾性変形を扱う学問です)ですが、弾性論は工学だけでなく地球物理学にも応用が利く（例えば地震など）ため、竹内先生の著書には「弾性論」もあります。この「弾性論」はとても簡潔に纏められていることと、福井県のご出身ということで、私が大学院で担当していた弾性力学特論の講義では、教科書として使わせていただきました。他に書かれた著書や生前のTV出演などを拝見すると、先生は、真面目で誠実なお人柄であったように感じます。特に著書「頭をよくする私の方法」には、そのエッセンスが詰まっています。とても読み易く、きっと皆さんの役に立つ事も多く含まれていると思い、お勧めしました。

この本に書かれている通り、先生は理想の人生についてよくお話されます。先生の考える理想の人生を送るためには、3つの条件があります。1つ目は自分の好きなことをやって生きていくこと、2つ目はそれで食べられること、そして3つ目はそれが他人の役に立つことです。好きな事をするためには、まず、自分のやりたい事や好きな事を発見する必要があります。出来るだけ早い時期にこれを見つけるのが良いが、何事も楽をして成し遂げられるわけではないと書かれています。「頭をよくする私の方法」には、先生が理想の人生を送るために実施されてきた工夫の結晶が詰め込まれています。ここに書かれている全てを直ぐに実行しようと思うと大変ですが、この中から参考になると思う方法があれば、少しずつでも試されてみては如何でしょうか？皆さんが高専生活の中で好きなことを見つけ、より良い人生を送るためのきっかけを得られることを願っています。